Harch

Circular Yokohama の活動紹介

Certified B Corporation

ハーチ株式会社

Harch Inc.

Copyright（c）Harch Inc. All Rights Reserved.

自己紹介

加藤佑

2015年12月にハーチ株式会社を創業。社会をもっとよくする世界のアイデアマガジン「IDEAS FOR GOOD」を創刊、編集長に就任。2020年より循環経済専門メディア「Circular Economy Hub」、横浜で「Circular Yokohama」を展開。企業・自治体のサステナビリティ推進、サーキュラーエコノミー移行支援に従事。2023年4月にB Corp認証取得。英国ケンブリッジ大学サステナビリティ・リーダーシップ研究所 “Sustainable marketing, media and creative”修了。英国CMI認定サステナビリティ（CSR）プラクティショナー資格、The Circular Economy Institute “Circular Economy Trained” Certificate 保有。東京大学卒。

<u>サーキュラーエコノミーに関する主な役割：</u>

・ crQlr Awards（サーキュラー・アワード）2021審査員（2021）

・愛知県蒲郡市・サーキュラーシティプロジェクトアドバイザー（2021–）

・「すてるデザイン-持続可能な社会をつくるアイデア」（永井一史＋多摩美術大学 すてるデザインプロジェクト）執筆協力（2023）

・JST・共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）共創分野（本格型）・金沢大学「再生可能多糖類植物由来プラスチックによる資源循環社会共創拠点」参画企業（2023 – ）

・ JST・共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）共創分野（本格型）・慶應義塾大学「リスペクトでつながる『共生アップサイクル社会』共創拠点」慶應義塾大学SFC研究所所員（2023 – ）

・東京都立産業技術研究センター「中小企業のCE（サーキュラーエコノミー）への移行に資するナビゲーションマップ及びガイドに関する検討会」委員（2023 –）

Copyright（c）Harch Inc. All Rights Reserved.

Publishing a Better Future

よりよい未来を、みんなに届ける。

会社名	Harch Inc. （ハーチ株式会社）
設立年月日	2015年12月17日
資本金	2000万円
代表者氏名	加藤佑
事業内容	デジタルメディア事業 ／サステナビリティ・サーキュラーエコノミー支援事業
従業員数	35名（アルバイト・業務委託除く）
所在地	本社オフィス：東京都中央区日本橋富沢町10－13&WORK NIHONBASHI 602 横浜オフィス：横浜市中区尾上町3-35 横浜第一有楽ビル3F G Innovation Hub Yokohama 316 ロンドンオフィス：The Mills Fabrica London Cottam House, 36-40 York Way, London, N1 9AB
URL	https://harch.jp
認証・加盟	B Corp認証、横浜市SDGs認証制度”Y－SDGs”認証事業者、SBTi（1.5℃）、再エネ100宣言RE Action

Copyright（c）Harch Inc. All Rights Reserved.

事業紹介

サステナビリティ・サーキュラーエコノミー（循環経済）をテーマとするデジタルメディア運営を中心に、
企業・自治体・大学などのサステナビリティ支援、まちづくりプログラムなどを展開。

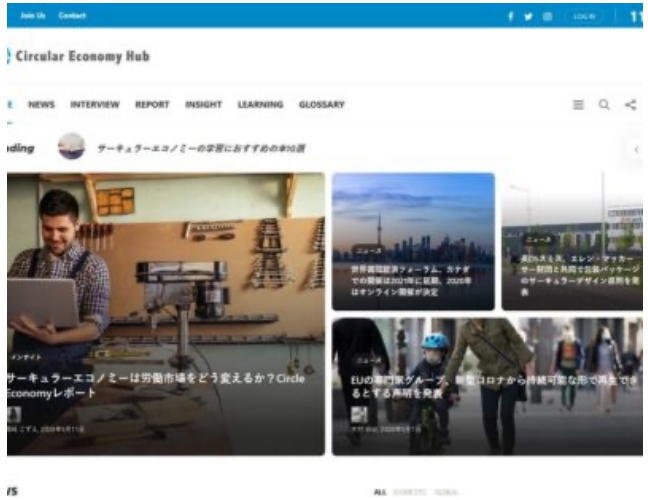
GLOBAL ←→ LOCAL

IDEAS FOR GOOD

社会課題をクリエイティブに解決する
世界のアイデアマガジン

https://ideasforgood.jp

CIRCULAR ECONOMY HUB



サーキュラーエコノミー専門
オンラインメディア

https://cehub.jp

CIRCULAR YOKOHAMA

横浜のサーキュラーエコノミー
推進プラットフォーム

https://circular.yokohama

Copyright（c）Harch Inc. All Rights Reserved.

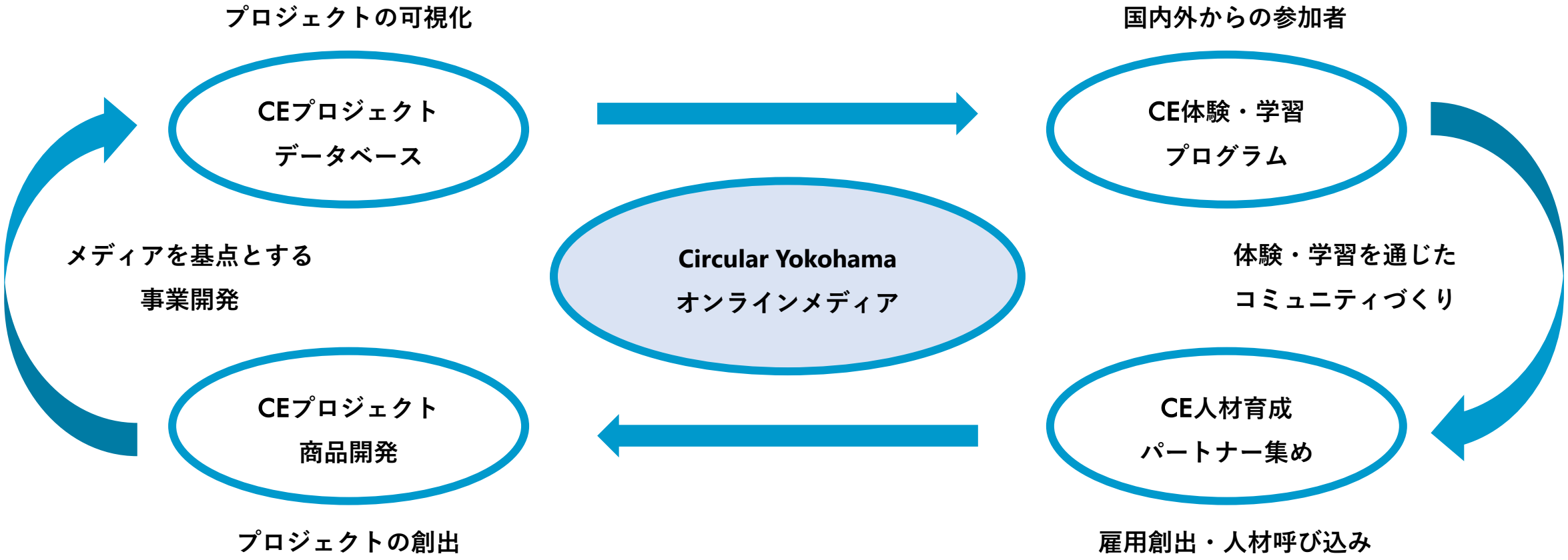
Circular Yokohama の活動紹介

Copyright（c）Harch Inc. All Rights Reserved.

Circular Yokohama のスタート（2020/3）

Circular Yokohama

横浜に関わる全ての人々が、サーキュラーエコノミーの作り手となり、
その恩恵の受け手となるメディアプラットフォーム

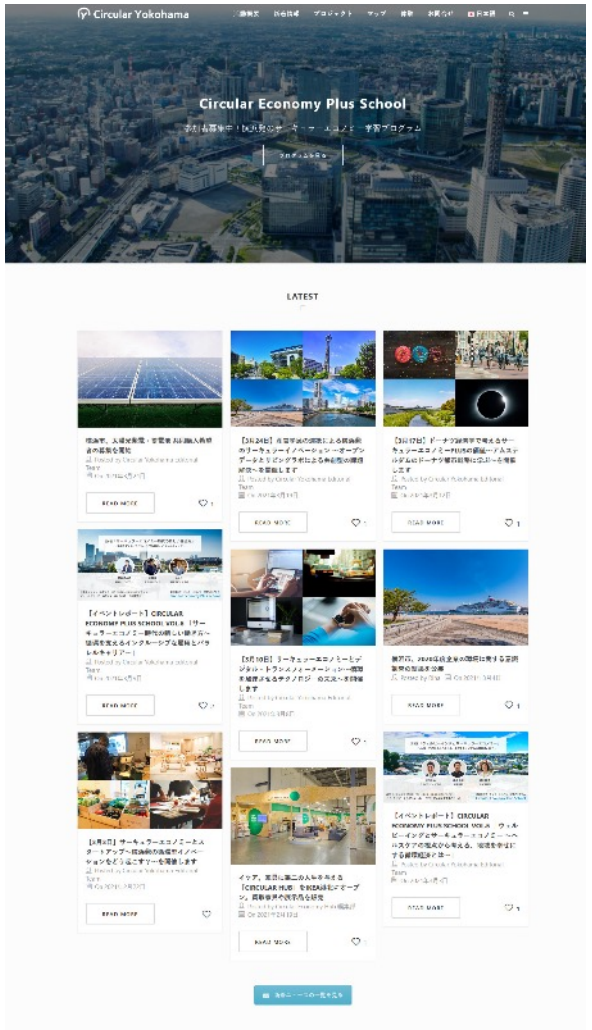


Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

Circular Yokohama の概要

Circular Yokohama

ニュース・レポート



プロジェクト

マップ

Circular Yokohama（サーキュラーヨコハマ）は、サーキュラーエコノミーを通じて横浜の地域課題解決、経済活性化、市民のウェルビーイング実現を目指すためのプラットフォーム。横浜市内のサーキュラーエコノミープロジェクトの紹介記事やデータベース 、活動マップ、イベント・学習プログラムなどを提供。横浜市経済局主催「YOXOアクセラレータ□プログラム」第一期に採択。

URL：https://circular.yokohama/

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

2021年1-3月：Circular Economy Plus School プログラム構成（全12回）

Circular Yokohama

	セッションテーマ	日時	フィールドワーク	日時
第1回	サーキュラーエコノミー Plusとは？	1/6（水）	懇親会	1/6（水）
第2回	食のサーキュラーエコノミー（ローカル・フォー・ローカル）	1/13（水）	SDGs横浜金澤リビングラボ視察	1/16（土）
第3回	再エネとサーキュラーエコノミー（ローカル・フォー・ローカル）	1/22（木）	solar crewの空き家DIY体験	1/23（土）
第4回	サーキュラーエコノミーとまちづくり（サステナブル・デベロップメント）	1/27（水）	森ノオトの活動視察	1/30（土）
第5回	ウェルビーイングとサーキュラーエコノミー（ヘルスプロモーション）	2/3（水）	ことぶき協働スペース	2/6（土）
第6回	サーキュラーエコノミー時代の新しい働き方（パラレルキャリア）	2/10（水）	緑園リビングラボ視察	2/13（土）
第7回	プラスチックのサーキュラーエコノミー	2/18（木）	プラスチック活用ワークショップ	2/20（土）
第8回	ファッションのサーキュラーエコノミー	2/22（月）	グリーンバードのごみ拾い活動参加	2/25（土）
第9回	サーキュラーエコノミーとスタートアップ	3/3（水）	サーキュラービジネスアイデアソン	3/6（土）
第10回	サーキュラーエコノミーとデジタル・トランスフォーメーション（DX）	3/10（水）	サーキュラー×DX ワークショップ	3/13（土）
第11回	ドーナッツ経済学で考えるサーキュラーエコノミーplusの価値	3/18（木）	ドーナッツ経済ワークショップ	3/20（土）
第12回	公民連携による横浜発のサーキュラーイノベーション	3/24（水）	打ち上げ懇親会	3/24（水）

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

2021年1～3月： Circular Economy Plus School フィールドワークの様子

フィールドワーク：10回

循環型農業 @八景市場・永島農園

空き家DIY@神奈川県箱根町

循環型拠点づくり@森ノオト

ウェルビーイング@ことぶき協働スペース

まち歩き@緑園都市 with 相模鉄道

廃プラアップサイクルワークショップ

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

2021年1～3月： Circular Economy Plus School フィールドワークの様子

海洋プラゴミのアップサイクルワークショップ（グリーンバード × テクノラボ × haishop）
2月20日 ／ 2月27日

みなとみらいクリーンアップ
with グリーンバード

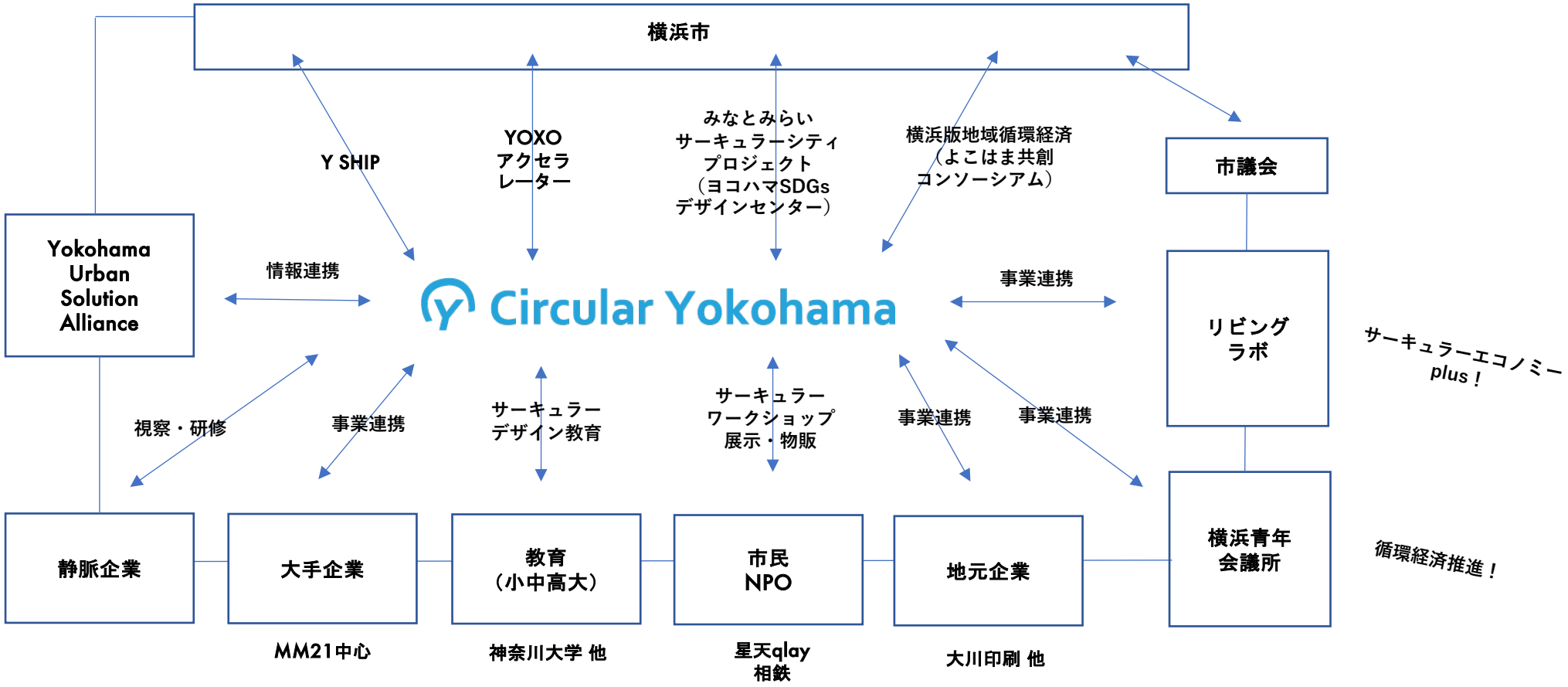
拾ったプラゴミのアップサイクルワークショップ
with テクノラボ @ haishop

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

Circular Yokohama のステークホルダー

Circular Yokohama

地域の様々なステークホルダーの皆様との連携により循環都市への移行をファシリテートする。

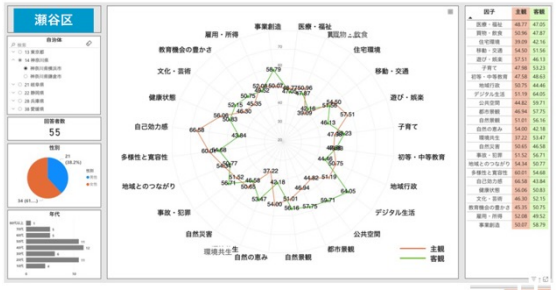


Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

Circular Yokohama の活動内容

Circular Yokohama

自治体連携



企業連携

地域連携

大学連携

Copyright（c）Harch Inc. All Rights Reserved.

Circular Yokohama の 活動

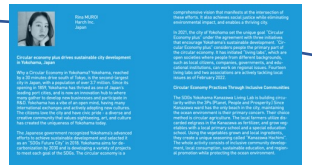
Circular Yokohama

グローバル・ローカル 双方の視点を重視しながら、サーキュラーシティへのトランジションを実現する。

Zoom out to Global

UNDPフィリピン視察

グローバル連携
（海外からの視察対応・海外への情報発信）



ドイツ国際協力公社「INTERSECTING Vol.8」

Circular City Promotion
循環都市実践のグローバル発信

よこはま共創コンソーシアム

西部　←　横浜市全域　→ 東部

みなとみらいサーキュラーシティ
プロジェクト

Circular City Design
循環都市のデザイン

地域連携イベント

星点qlay
（天王町駅・星川駅周辺）

地域連携実証実験

Circular Community Design
地域コミュニティにおける実践

Yokohama Circular
Design Museum

qlayion gallery

循環ガチャ

Circular Service Design
市民の意識行動変容デザイン

Zoom in to Local

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

YOKOHAMA CIRCULAR DESIGN MUSEUM @qlaytion gallery

Circular Yokohama

Playful Circularity（循環を、遊ぼう）

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

サーキュラー・サービスデザイン「循環ガチャ」@qlaytion gallery

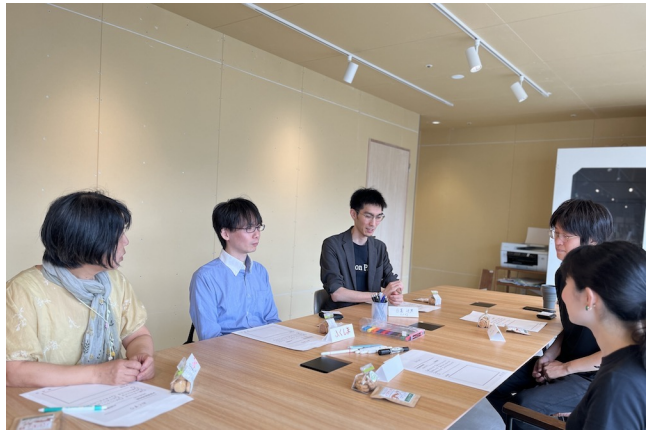
Circular Yokohama

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

めぐる星天文庫 @ 星天 qlay 地域拠点連携

Circular Yokohama

本がまちを旅しながら循環する、シェアリング本棚「めぐる星天文庫」読書会なども開催中



https://circular.yokohama/2023/07/18/circular_library/

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

YOKOHAMA CIRCULAR TAKE OUT（横浜サーキュラーテイクアウト）

Circular Yokohama

食品ロス削減・地産地消お弁当 × テイクアウト容器のシェアリング

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

神奈川大学 サーキュラーデザインプロジェクト

神奈川大学・みなとみらいファブラボの道用ゼミと連携し、サーキュラーデザインの理解からアイデア出し、プロトタイプづくり、
企業に対するプレゼンテーションまでを行う３ヶ月間のサーキュラーデザインプロジェクトを実施。

【参考】神奈川大学「サーキュラー デザイン プロジェクト」の発表会を開催しました
https://www.kanagawa-u.ac.jp/news/details_23328.html

プロジェクト企画：ハーチ株式会社
協力企業：株式会社Nature Innovation Group（アイカサ）、株式会社Innovation Design、株式会社テクノラボ、富士フイルムイメージングシステムズ株式会社、三菱鉛筆株式会社、無印良品 港南台バーズ

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

横浜版地域循環経済によるウェルビーイングの実現

Circular Yokohama

横浜市民のウェルビーイング実現
（シビックプライド向上）

横浜版地域循環経済プロジェクト

4つの圏域でそれぞれの
特性を活かしたプロジェ
クトを展開

将来横浜で
暮らす人を幸せに

いま横浜で
暮らす人を幸せに

環境

資源循環
脱炭素への貢献
生物多様性の回復

地域資源の循環を通じて
地域の環境を豊かにする

経済

地産地消・地域産品開発
観光・市外からの投資

地域経済循環と投資を通じた
地域企業活性化・行政財政健全化

社会

多様性とつながり
若者・子育て・教育
・福祉・キャリア

多様な掛け合わせを通じて
多様なつながりを育む

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

横浜市の4つの圏域とサーキュラーエコノミーゾーン

Circular Yokohama

北部
人口：1,065,500人（2020年）
人口増減：郊外部（北部・南部・西部）では最も増加率が高い
高齢者人口（65歳以上）比率：最も低い
年少人口（0-14歳）比率：最も高い

東部
人口：984,821人（2020年）
人口増減：微増
高齢者人口（65歳以上）比率：高い
年少人口（0-14歳）比率：低い

西部
人口：727,986人（2020年）
人口増減：減少傾向
高齢者人口（65歳以上）比率：最も高い
年少人口（0-14歳）比率：低い

南部
人口：984,821人（2020年）
人口増減：微増
高齢者人口（65歳以上）比率：高い
年少人口（0-14歳）比率：低い

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

横浜市の4つの圏域のイメージ

Circular Yokohama

横浜市の各サーキュラーエコノミーゾーンで展開される
地域循環経済プロジェクト

北部・西部・南部における取り組みや団体を、
市役所を訪れる人や東部のオフィスワーカー、
生活者と結びつける「メディア」としての
横浜市役所低層部の活用

＋

みなとみらい地区
企業との連携

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

西部圏域（保土ヶ谷区・旭区・泉区・瀬谷区）

Circular Yokohama

項目	概要
人口	727,986人（2020年）
人口増減	減少傾向
高齢者人口（65歳以上）比率	最も高い
年少人口（0-14歳）比率	低い

・帷子川流域と柏尾川低地を走る相鉄本線といずみ野線、市営地下鉄1号線（戸塚駅～湘南台駅間）の沿線によって形成されるエリア。相鉄線や市営地下鉄のネットワークにより大和、海老名、厚木、藤沢などの県央・県西地区との関連性が深い。

・2015年から2020年まで人口は0.4%減少。高齢者人口割合が28・2%（2020年）と最も高く、少子高齢化が急速に進む。

・サーキュラーエコノミーの推進における西部圏域の強みは、市域では珍しくフラットな市街化調整区域内に優良な農地を抱えていること、また高齢者や障害者の社会福祉施設が数多く存在、直売所の経営や引き売りなどを通じて消費者と積極的にかかわろうとする農家や、開かれた施設経営を旗印にして周辺の住宅地と積極的に交流を進める意欲を持つ社会福祉法人やNPO法人も多く、農福連携による食の循環に可能性がある。

・横浜臨海部への利便性を損なうことなく、農業などに携わりながら自然と調和したゆったりとした暮らしを楽しみたい人にとっては理想的なエリア。

・瀬谷区では都市養蜂など生物多様性の保全・再生とまちづくりが一体となった取り組みが展開されているほか、「旧上瀬谷通信施設」では2027年に国際園芸博覧会が開催予定となっており、横浜のサーキュラーエコノミーを世界にプロモーションするだけではなく、博覧会のレガシーを見据えた循環型のまちづくりにも期待がかかる。

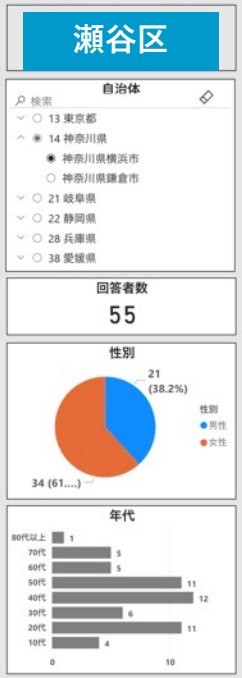
・また、保土ヶ谷区にある相鉄線・星川・天王町駅間の高架下再開発プロジェクトではサーキュラーエコノミーを意識したまちづくりが標榜されており、今後の発展が注目。

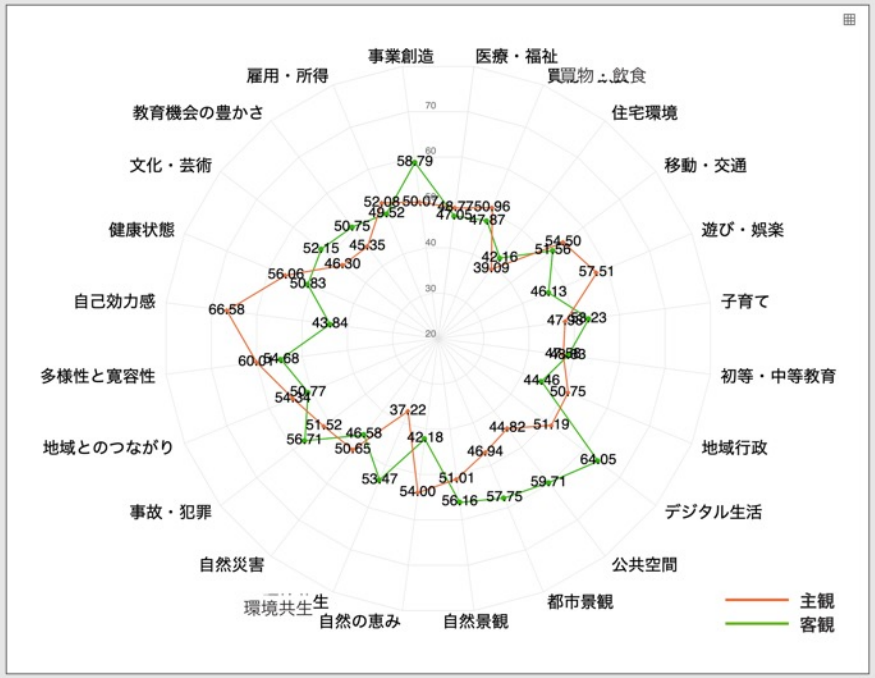
Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

瀬谷区・西部圏域・横浜市のウェルビーイング比較（因子別）

Circular Yokohama

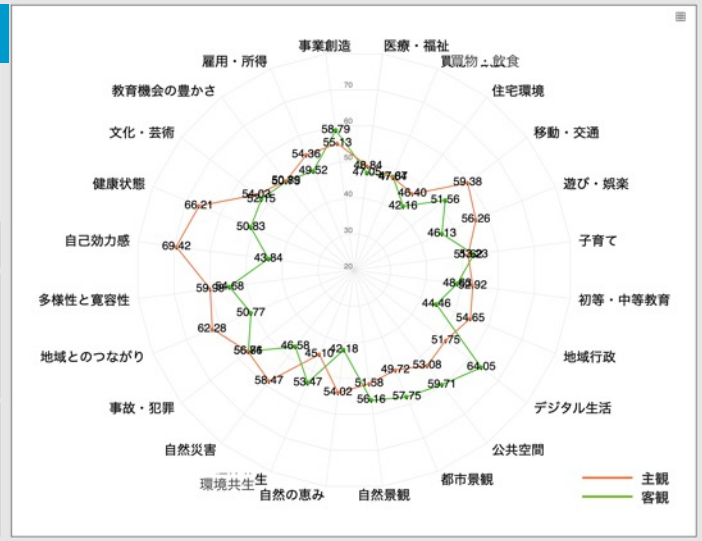
瀬谷区





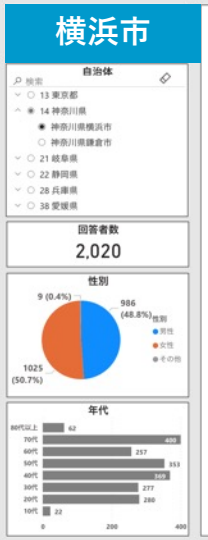
因子	主観	客観
医療・福祉	48.77	47.05
買物・飲食	50.96	47.87
住宅環境	39.09	42.16
移動・交通	54.50	51.56
遊び・娯楽	57.51	46.13
子育て	47.98	53.23
初等・中等教育	47.58	48.63
地域行政	50.75	44.46
デジタル生活	51.19	64.05
公共空間	44.82	59.71
都市景観	46.94	57.75
自然景観	51.01	56.16
自然の恵み	54.00	42.18
環境共生	37.22	53.47
自然災害	50.65	46.58
事故・犯罪	51.52	56.71
地域とのつながり	54.34	50.77
多様性と寛容性	60.01	54.68
自己効力感	66.58	43.84
健康状態	56.06	50.83
文化・芸術	46.30	52.15
教育機会の豊かさ	45.35	50.75
雇用・所得	52.08	49.52
事業創造	50.07	58.79

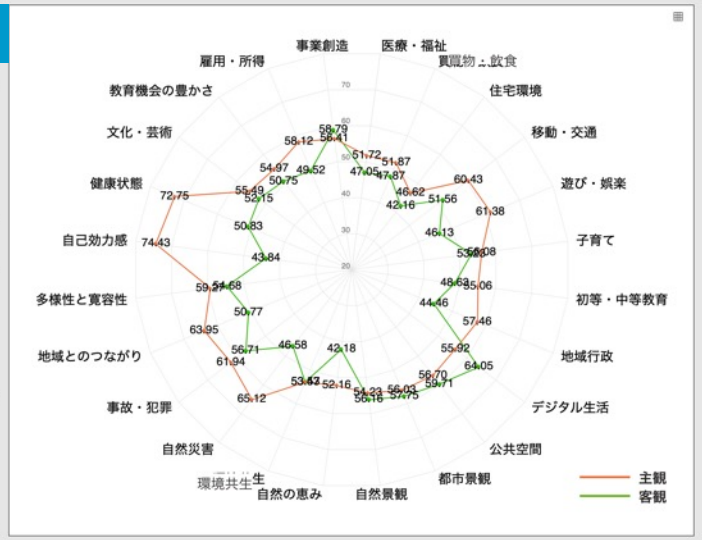
西部



因子	主観	客観
医療・福祉	48.84	47.05
買物・飲食	47.64	47.87
住宅環境	46.40	42.16
移動・交通	59.38	51.56
遊び・娯楽	56.26	46.13
子育て	51.62	53.23
初等・中等教育	52.92	48.63
地域行政	54.65	44.46
デジタル生活	51.75	64.05
公共空間	53.08	59.71
都市景観	48.92	57.75
自然景観	51.58	56.16
自然の恵み	54.02	42.18
環境共生	45.10	53.47
自然災害	58.47	46.58
事故・犯罪	56.86	56.71
地域とのつながり	62.28	50.77
多様性と寛容性	59.99	54.68
自己効力感	69.42	43.84
健康状態	66.21	50.83
文化・芸術	54.03	52.15
教育機会の豊かさ	50.89	50.75
雇用・所得	54.36	49.52
事業創造	55.13	58.79

横浜市





因子	主観	客観
医療・福祉	51.72	47.05
買物・飲食	51.87	47.87
住宅環境	46.62	42.16
移動・交通	60.43	51.56
遊び・娯楽	61.38	46.13
子育て	56.08	53.23
初等・中等教育	55.06	48.63
地域行政	57.46	44.46
デジタル生活	55.92	64.05
公共空間	56.70	59.71
都市景観	56.03	57.75
自然景観	54.23	56.16
自然の恵み	52.16	42.18
環境共生	53.53	53.47
自然災害	65.12	46.58
事故・犯罪	61.94	56.71
地域とのつながり	63.95	50.77
多様性と寛容性	59.27	54.68
自己効力感	74.43	43.84
健康状態	72.75	50.83
文化・芸術	55.49	52.15
教育機会の豊かさ	54.97	50.75
雇用・所得	58.12	49.52
事業創造	56.41	58.79

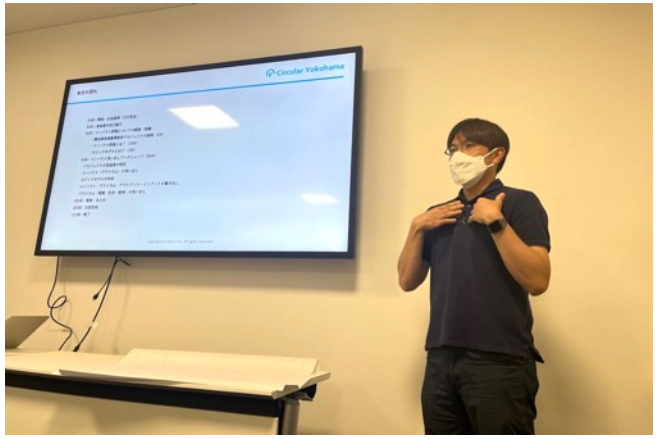
因子	主観	主観	主観
医療・福祉	48.77	48.84	51.72
買物・飲食	50.96	47.64	51.87
住宅環境	39.09	46.40	46.62
移動・交通	54.50	59.38	60.43
遊び・娯楽	57.51	56.26	61.38
子育て	47.98	51.62	56.08
初等・中等教育	47.58	52.92	55.06
地域行政	50.75	54.65	57.46
デジタル生活	51.19	51.75	55.92
公共空間	44.82	53.08	56.70
都市景観	46.94	49.72	56.03
自然景観	51.01	51.58	54.23
自然の恵み	54.00	54.02	52.16
環境共生	37.22	45.10	53.53
自然災害	50.65	58.47	65.12
事故・犯罪	51.52	56.86	61.94
地域とのつながり	54.34	62.28	63.95
多様性と寛容性	60.01	59.99	59.27
自己効力感	66.58	69.42	74.43
健康状態	56.06	66.21	72.75
文化・芸術	46.30	54.03	55.49
教育機会の豊かさ	45.35	50.89	54.97
雇用・所得	52.08	54.36	58.12
事業創造	50.07	55.13	56.41

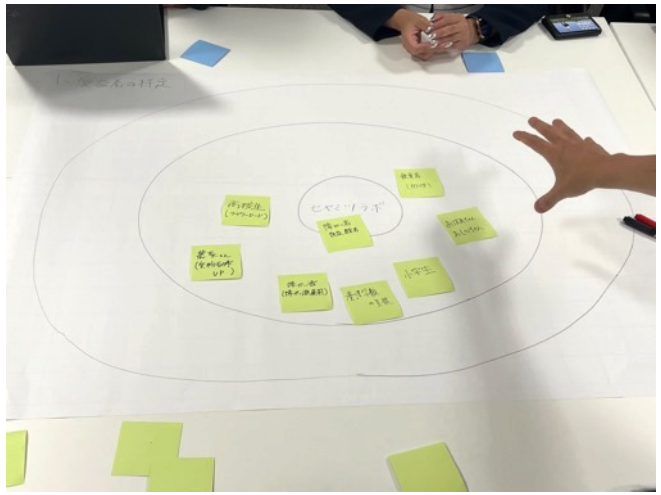
・横浜市全域→西部圏域→瀬谷区の順にウェルビーイング指標の数値は下がる傾向にある。
・横浜市全域・西部圏域と比較して特に低いのが「環境共生（37.22）」「住宅環境（39.09）」「教育機会の豊かさ（45.35）」「初等中等教育（47.58）」「子育て（47.98）」
・横浜市全域・西部圏域と比較して高いのは「多様性と寛容性（60.01）」「自然の恵み（54.00）」
・瀬谷区のウェルビーイングを高めるためには、強み（「多様性」と「自然の恵み」）を活かし、弱み（「環境共生」「住宅環境」「教育機会の豊かさ」「初等中等教育」「子育て」）を補うプロジェクトが重要

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

循環経済プロジェクトのウェルビーイング貢献度を可視化するインパクト評価モデル

Circular Yokohama





Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

みなとみらいサーキュラー・シティプロジェクト ～ 脱炭素へ皆TRY！ ～

Circular Yokohama

出典：日揮ホールディングス：みなとみらいサーキュラー・ウィークエンド～
脱炭素へ皆TRY！ ～ 出展のお知らせ
https://www.jgc.com/jp/news/2023/20230320.html

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.

海外視察コーディネート（UNDPフィリピン）

Copyright (C) Harch Inc. All rights reserved.